



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第37回例会(4月12日)
平成25年4月19日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例会日 毎週全曜日12時30分～

会長 藤村 文昭
幹事 佐藤 重昭
会報 福田 莊介
クラブ直通電話 TEL(653)5682

奉仕を通じて平和を Peace Through Service..... RI会長 田中作次



会員卓話

「人生こぼれ話」

(株)東流社 相談役
熊谷 昭三 君

先般、プログラム委員長から卓話依頼があり、85才にもなりましたし、クラブでも年齢順も、入会歴も古い方から2番目です。そろそろ人生のこぼれ話を語っても良い頃かとそんな気分になってお引き受けした次第です。

4年ほど前になりますが、転勤族の皆さまを除いた会員諸氏に「桜雲緑風 120年熊長本店社史」をお届け致しました。実は会員の中には「丸二日かけて読まされてしまった。」「その間、時間泥棒をされた。」とおっしゃる方もおられ、深読みをされている方もいらっしゃいました。なるべく社史と重複しないように、そして時系列順に話を進めて参りたいと思います。

私が図らずも熊長本店の社長になったのは昭和29年1月で(図らずも、とは8人兄弟の末っ子で四男坊)社長である父親が75歳で亡くなり、その時私は弱冠25歳でした。時の県知事は、戦後初の民選知事、国分謙吉さんでした。父とは昵懇の間柄でしたので、毛筆の墨痕鮮やかなお悔やみ状を頂戴しました。奥様を亡くしたばかりで、「喪中なので行けないが、弔辞を差し上げたい。」ということでございました。有難く頂戴したいということで、知事室に挨拶に向きました。その時の知事室の先客が、当時岩手日報の専務だった太田俊穂さんで、前の年の末、つまり昭和28年12月末に開局したばかりの岩手県初の民間放送、IBC岩手放送(あの頃

はラジオ岩手)の経過報告に行っていたのだそうで、初めて面識を得た次第でした。その時は、これが岩手の民間放送播種期の発展に、後日拘わるきっかけになるとは考えてもみませんでした。因みに父の葬儀に喪中の国分知事の弔辞を代読して下さったのが、小川秀五郎出納長(小川惇パストガバナーのお父様)でいらっしゃいます。後々、卸団地の建設、あるいは経済同友会でお世話になるきっかけなど、沢山ございますが後ほど機会があれば詳しくお話ししたいと思います。

岩手放送の初代社長は岩亀精造さんで古武士の風格がおありでした。他に太田専務、福田常雄常務兼東京支社長、高橋双吾営業部長、という陣容でありました。皆さんご存知の河野逸平さんに至っては、その頃は東京の数寄屋橋交差点角、今の東芝ビルの一角にあった「新和ビル」というエレベータの無い小さなビルの5階事務所に早稲田の学生服姿でバイトをしていました。そんな時代です。

高橋双吾さんとは、日報時代から営業をしていて顔見知りで、開業まもなく泣きついてきました。出来立ての地方局(ラジオ)ではスポンサーを訪問しても会ってもくれない。なんとか力を貸してくれという事でした。太田とも知事室で会ったそうだし頼むよ。という話でした。それじゃあというわけで東京支社の小林英雄く

ん（後に山形放送常務）という私より一つ年上の立教ボーイを上京のたびにメーカーに連れてあるき、紹介する務めがしばらく続きました。その時は目的のメーカーに交詢社から黒塗りのハイヤーに社旗を取り付け、颯爽と格好をつけて乗り込みました。そのお返しというわけで、夜は彼の縄張りである銀座で殆ど毎回慰労会をやっていましたが彼もかなり酒が好きでした。彼は生まれつきの江戸っ子で、佃島の老舗佃煮屋の倅で、このわた一皿を一時間も二時間もかけて突っついて酒だけ飲むタイプでよく銀座界限を二人で飲み歩き、狭い裏小路まで殆ど知り尽くしました。

次に出てきた問題は、原敬が山田線を通す時、議会で浴びた言葉と全く同じ台詞で「岩手みたいな人の居ない所にコマーシャルを流して、猿にでも聞かせるのか？」との悪態。そこで、なんとか岩手の正しいPRをする必要があるということで、東京と大阪で有力スポンサーを招待・PR作戦を考えなければならなくなりました。時は昭和30年代初め頃でした。招待会は関東は熱海と、関西は有馬温泉で実施され、その会にスポンサーを引っ張りだす、いわば餌の役割に、岩手のためだと地元から動員されたのが川村徳助さん（先代の川徳社長、宗生さんのお父さん）、村井源一さん（後のパストガバナーで研一郎さんのお父さん）、そしてまだRCに入ったか入らない頃の私（まだ二十代）の三人で、IBC側は東京兼大阪支社長の福田専務、高橋常務以下が出席、楽しい弥次喜多道中でした。

両会場とも熊長の取引スポンサーが圧倒的に多く面目を施したのですが、その頃は私どもが扱っている商品が沢山コマーシャルを出している時代で、その会で何を言えば良いかと考え、「岩手は四国四県に匹敵する広い面積を持つ県です。沿岸部に行くのも簡単ではない、沿岸の三陸地方では新聞は夕方でない配達にならず、夕刊は翌日の朝の配達、情報は電波媒体に頼る時代傾向にあります。」と訴え、日報さんには悪かったけれど、事実当時はその通りで、福田専務に君の話が一番良かったと煽られました。

関西では京都に泊まって村源さんの顔で『一力茶屋』で緊張しながらも楽しい一夜を過ごしました。それにしても村源さんの食通ぶりには感心しました。このような催しは二年ほど続き、二年目の随伴者は確か私一人でした。こうしてIBCとは1・2年で完全に仲良しになりました。

昭和32年12月、上田の体育館がオープンする時（現在の建物の前身）、一計案じ、オープニングセレモニーの独占を企みました。何故かといいますと、当時メーカーが愛用者優待をするのですが、映画に呼んでもショーに呼んでも入場税が掛かり、気軽に愛用者招待をやり難い時代でした。それがラジオの公開録音の形だと無税。公然たる脱税行為、これを利用しない手はない。ということでよく活用していました。けれど当時は公会堂ホールが最大の入れ物で効率が悪かった。そこに新設予定の体育館です。パイプ椅子で4,000人ほど入れられる。と聞いては黙って居られない訳で、有力メーカーを口説いて超人気タレントを用意し、山本彌之助市長（この人もロータリアン）には、多くの市民を集め新設の体育館を見せられるようにする。と、IBCに言わせ、思い切って入場整理券を配ったのです。出し物は今でも覚えておりますが三遊亭金馬師匠（勿論先代）の落語、丹下きよ子司会の「素人ジャズのど自慢」、トリはジョージ川口と白木英雄のドラム・バンド合戦。おそらく当時の東京でも実現したことがないだろう豪華な組み合わせで、テレビのない時代大変な魅力だったと思います。

いよいよ当日になり新設の体育館の本体は完成していても周辺は未整備、未舗装、街灯も殆どなく、そのうえ12月の日没は早く、暗闇の中に、過って見たこともない黒山の大群衆が群がり集まりました。開場の準備のモタツキもあり、早く入れろ！入れろ！で入場口と非常出口の鉄サッシの扉が、殺到する人間の圧力で今にも壊されそうな大混乱の非常事態！仕掛け人の私は『これは怪我人が出るな…死傷者がでたらどうしよう!!』と真っ青でした。その後後ろで「わっはっは!! 愉快、愉快、大盛況だ。これで死なない程度の怪我人が出て、明日の新聞にデ

カデカ掲げられれば二重の宣伝効果だ。」誰かと見れば福田専務。「えっ、そんな考え方もあるの?」と、少しは冷静になりましたが、あれが本音なのか、不安の鎮静剤だったのかは訊いても答えてくれたか判りませんが、絶対忘れられない言葉です。

苦勞しながらもなんとか立ち見を入れて5,000人以上、もしかしたら6,000人位入ったかも知れません。観客の盛り上がりは最高で、挨拶に来た市長は「私の話など誰も聞いてくれない。」とぼやいておりました。翌日、掃除に来た人達が「なんで靴が数十足も場外に落ちているのだろう?」と不思議がったそうです。暗黙の中、押すな押すなの立錐の余地なき雑踏の中で、足を踏まれ靴が脱げて、しゃがんで拾う余裕など全くなかったようで、12月の寒空を靴なしで帰られた方々に陰ながら反省とお詫びを申し上げた次第であります。

この福田専務こそ岩亀社長、太田社長についてRCに入会し、盛岡クラブの三奇人と呼ばれた福田恒雄氏です。実は私が入会した頃、RC会員として最も苦手な仕事として、少年刑務所の一里親プログラムがありました。毎月一回、夫婦で訪問し、美味しくて喉を通り難い昼食と一緒に食べる役目のあと、1時間ほど話をしなければならぬ役割で、出来れば敬遠したいと殆どの人が思う仕事でありました。身近な所では昨年亡くなられた平井冽さん(滋さんのお父さん)。大変そうなので奥様とではなくお母様と…と聞きましたし、平野啓三さん(佳則さんのお父さん)からも「頭のいいのが居て意地悪な質問をされてとても大変だった。二度と行きたくない。」と聞かされ、奥様方からも大不評の鬼門のプログラムがありました。その悪評プログラムが方向転換したのは「悪いことをしたのが集まっている所に行ってそんなことをやるよりも、世の中に何も悪いことをしないで年を取って、今困っている人の方を優先して考えるべきではないか。」の、福田さんの一言でした。「教育の専門家ですら難しいのに、傲ったお節介ではないか。」という考えのようでした。皆、心の中で『助かった。』と思った筈です。この

件では私は被害者になっておりません。理由は多分29歳で入会した当時の私より塰の中の方に年長者が居たのではないかと考えられます。福田氏は弁舌、文筆、画才に優れており、例会では誰彼なく捕まえて、似顔絵をスケッチし、翌週良く似た絵もそうでないのも、額に入れてモデル本人に1万円で売りつけ、歳末助け合い運動に献金されました。社会奉仕委員会を通じ、清和荘に寄贈した額は40万円に達したとビッグフライデー(50周年記念誌)に書いてあります。創立記念例会の卓話で川村登さんも触れていましたが、その他いろいろ、とにかく奇才を持ったすごい人でした。

IBCとは昭和34年放送法の改正により番組審議会制度が施行され初代審議員になり、また太田社長は文芸社長と言われながら、「俺は営業のことは知らないけど、スポンサーの事を最優先に大切に考える。」と、一本きちんと筋の通った人で、ご本人やその意を受けた三代目の社長の高橋双吾さんからも随分お世話になりました。誰か大事な人が来ると、一緒にどうかと誘ってくれ、経済誌『財界』の編集長をやっていた伊藤肇氏とはこちらも仲良しになり、ゴルフも何度か一緒しました。盛岡の人は殆ど知らないと思いますが、終戦の詔勅の起草者と言われ、歴代総理の指南役としても知られた安岡正篤(マサヒロ)先生を伊藤肇さんが盛岡に連れて来たことがあります。岩手日報の渡辺武さん等数人で、大手先の扇屋で先生を囲む会食に、末席に呼んでもらったりしました。今考えてみても良く気を使って頂きましたし、可愛がってもらったと思います。

その外、東京KGCと称し私と仕入先メーカーとの親睦とコミュニケーションを計る会があり事務局をIBCがやってくれていました。これは何のことはない、盛岡でゴルフの出来ない2月頃スリーハンドレッドクラブのような超名門コースを取ってコンペをやって一杯やる。スリーハンドレッドの料理は極上で、みんな盛り上がり、車で帰るつもりが車を置いて帰るといった楽しい会でした。経費はIBC持ち、メーカーは臨時のスポットを出稿で招待を受け、私

は冬に名門で楽しめる。三方良しの企画は十数年続きました。その或る時期、事務局として使い走りをさせた一人が、申し訳無いのですが、小西隆昭前々社長(元会員 現東京支部)でした。

こんな一連の話も民放一社体制時代の事で、昭和44年にテレビ岩手が出来て時代は変わる訳です。テレビ岩手では伊勢卓夫社長とは大変仲良くさせて貰いましたし、後日お話す機会があるかもしれませんが、岩手テレメッセージ(ポケベルの会社)の社長時代は親身にお世話になりました。

その外、かつて早稲田の学生服姿でバイトをしていたIBCの河野逸平社長という、話題に事欠かない人もおりましたし、番組審議会ではずいぶん物議を醸すようなエピソードもありますが時間が来ましたので、そろそろこの辺で切り上げましょう。機会があれば卸団地の話、ポケットベルの話、或いは公安委員会の話などまだまだあります。今日はせいぜい50年位前のところまでしか話が進みませんでした。その点お詫びを申し上げて終わりとさせていただきます。

例 会 報 告

第37回例会
平成25年4月12日(金)

- 於 川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司 会 長澤 茂副会長
 - ・ソング 我らの生業
 - ・皆出席バッチ 吉田幸一君(19年)、駒木 進君(18年)。
 - ・会長報告 長澤 茂副会長
 - ・入会祝 斎藤和好君。
 - ・誕生祝 市丸清志、桑田周一君。
 - ・結婚祝 谷藤和彦君。
 - ・幹事報告 佐藤重昭幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

●盛岡北R.C.=4月24日(水)は観桜会のため18:30~カワトクキューブⅡ「お箸家 柚子」、5月1日(水)は特別休会。

●盛岡西R.C.=4月18日(木)は14日(日)盛岡南RC創立40周年記念式典前に例会変更。4月25日(木)は21日(日)地区大会前に例会変更。5月2日(木)は創立記念例会のため18:30~時間変更。

【ニコニコBOX】

- ◆斎藤和好君…7年10ヵ月、お世話になりました北上済生会病院を3月退職して、4月から澤野先生の後任として岩手リハビリテーション学院にお世話になっております。まだ、抹消されておらないようなので安心しました。今後ともよろしくお願い致します!
- ◆白石茂君…本日の熊谷さんの卓話を聞いて一つ思い出しました。私の父も刑務所慰問プログラムでイヤヤながら出席させられた話があったことでした。何度か刑務所で何をしたのか聞いたことがあり

ませんでした。多分母と一緒に詩吟を詠じたのだと思います。

- ◆阿部広君…本日の熊谷昭三さんの卓話、私どもIBCの黎明期の貴重なお話ばかりで本当に感激して聞かせていただきました。今年IBCは60周年を迎えました。熊長さんには60年以上の感謝でいっぱいです。
- ◆千葉隆史君…熊谷さん、楽しい卓話ありがとうございました。是非又続きをお聞かせ下さい。
- ◆市丸清志君…52歳の誕生日なのでニコニコします。仕事も遊びもロータリー活動も頑張ります。
- メーキャップ
地区=千葉・大山・岡村君。盛岡西R.C.=伴・飯塚・民部田君。盛岡南R.C.=熊谷(祐)君。盛岡東R.C.=福田(泰)君。クラブ委員会=熊谷(隆)君。

出席報告 会員数 /68 名 出席数 /47 名 出席率 /75.76% 前々回修正出席率 /89.23%

- ・4月19日(金) ゲスト卓話 尾形さゆり様・佐藤久美子様
「脳いさいき! 体いさいき! 元気の源 音読のスズメリ」
- 25日(木) 観桜会(26日例会変更)
- ・5月 3日(金) 祝日休会(憲法記念日)
- 10日(金) ゲスト卓話 小原 薫様(野菜ソムリエ)
- 17日(金) 新入会員卓話 諏訪泰幸会員
- 24日(金) ゲスト卓話 畠山節子様(ポランの広場 父母会会長)
「ポランの広場 報告」
- 31日(金) ゲスト卓話 内田桂子様(盛岡少年鑑別所 所長)
「盛岡少年鑑別所 報告」

プログラムの
お知らせ

●本号編集担当 / 道脇 清文
●次号編集担当 / 矢後 勝洋